

京都市告示第 299 号

地方公営企業法第 40 条の 2 及び京都市公営企業の業務状況公表に関する
条例に基づき、平成 21 年 10 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日までの期間にお
ける京都市公営企業の業務状況を公表します。

平成 22 年 11 月 19 日

京都市長 門 川 大 作

平成21年度後期京都市病院事業業務状況（市立病院）

1 事業の概況

当期の病院事業においては、引き続き、患者サービスの向上、病床の有効活用や事務の効率化及び救急患者の積極的な受入れなど経営改善に努めました。

一般診療関係では、入院患者数は、前年度同期に比べ延べ5,239人（6.1パーセント）減少し、延べ81,127人となり、1日平均では28人減少し、446人となりました。また、外来患者数は、前年度同期に比べ延べ7,745人（5.2パーセント）増加し、延べ157,912人となり、1日平均では54人増加し、1,327人となりました。

一方、感染症診療では、入院患者数は、延べ63人となりました。

診療収入は、入院収益が39億2,333万円、外来収益が14億3,564万円となり、前年度同期に比べ、入院収益で1億5,996万円（3.9パーセント）の減収、外来収益で1億2,578万円（9.6パーセント）の増収となり、診療収入全体では3,418万円（0.6パーセント）の減収となりました。

当期における病院事業の患者数及び収入額は、次のとおりです。

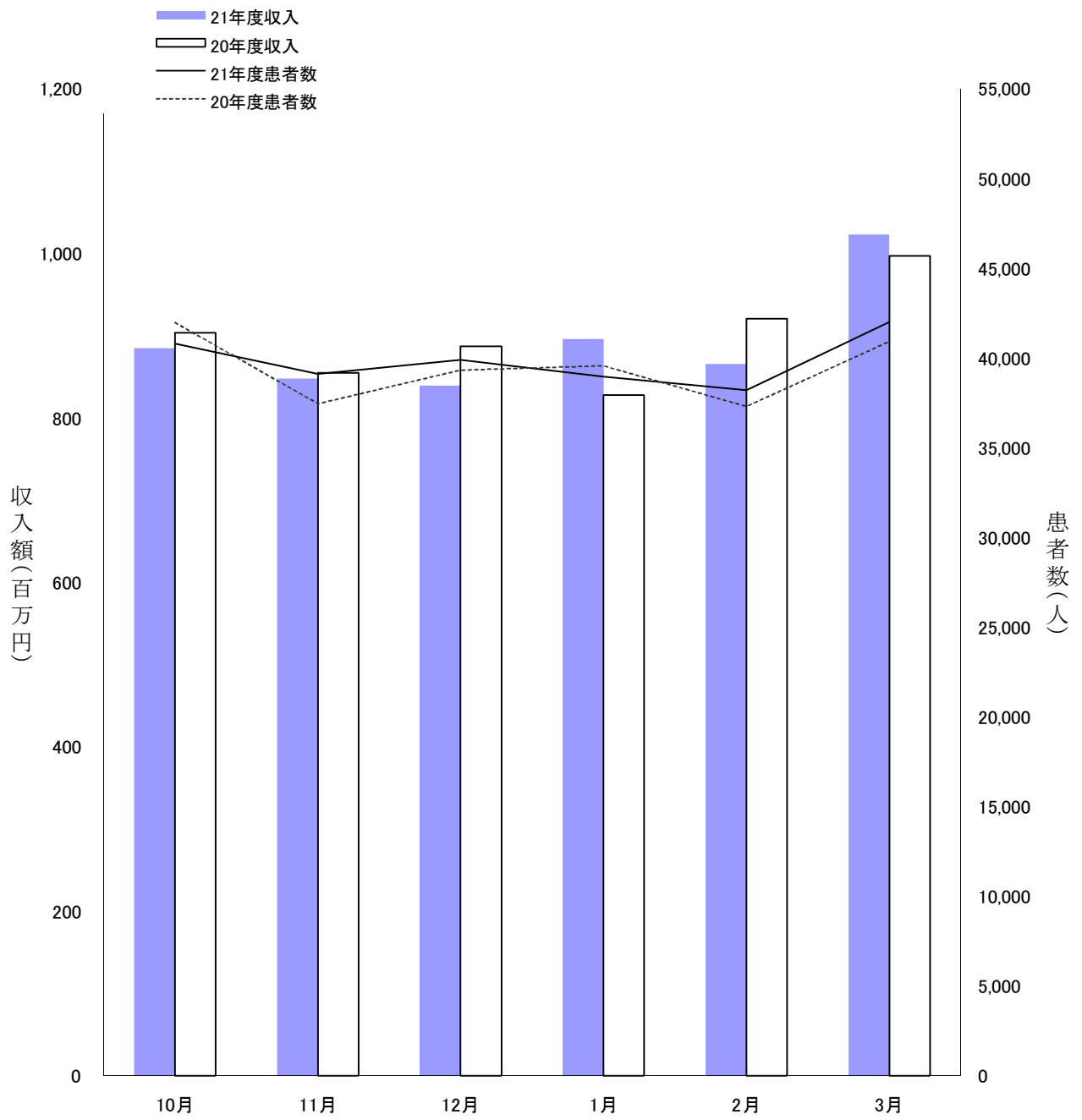
患者数及び収入額

月 別 項 目	入 院		外 来		収入額合計
	患 者 数	収 入 額	患 者 数	収 入 額	
平成21年	人	千円	人	千円	千円
10月	13,461	642,621	27,364	242,225	884,846
11月	13,082	610,794	26,036	237,617	848,411
12月	13,327	608,440	26,585	231,440	839,880
平成22年					
1月	13,623	657,911	25,370	238,619	896,530
2月	13,667	642,431	24,559	223,629	866,060
3月	14,030	761,130	27,998	262,112	1,023,242
合 計	81,190	3,923,327	157,912	1,435,642	5,358,969
1日平均	446	21,557	1,327	12,064	33,621
前年度同期1日平均	474	22,435	1,273	11,007	33,442

備考1 営業日数は、入院 182 日、外来 119 日です。

2 入院の患者数及び収入額は、一般診療と感染症診療の合計です。

3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。



なお、平成21年度の実績を前年度と比較すると、次のとおりです。

区 分		平成20年度	平成21年度	増 △ 減	
入 院	一 般 診 療	診 療 日 数	365 日	365 日	0 日
		稼働病床数	578 床	540 床	△ 38 床
		稼働利用率	79.7 %	81.8 %	2.1 ポイント
		延べ患者数	168,209 人	161,234 人	△ 6,975 人
		1日平均患者数	461 人	442 人	△ 19 人
感 染 症 診 療	感 染 症 診 療	診 療 日 数	365 日	365 日	0 日
		稼働病床数	8 床	8 床	0 床
		延べ患者数	54 人	223 人	169 人
延べ患者数合計		168,263 人	161,457 人	△ 6,806 人	
外 来	外 来	診 療 日 数	243 日	242 日	△ 1 日
		延べ患者数	304,723 人	312,017 人	7,294 人
		1日平均患者数	1,254 人	1,289 人	35 人

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成21年10月1日から平成22年3月31日)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
医 業 費 用	6,531,067	医 業 収 益	6,765,006
給 与 費	3,524,509	入 院 収 益	3,923,327
材 料 費	1,369,859	外 来 収 益	1,435,642
経 費	1,006,012	他 会 計 負 担 金	1,321,665
減 価 償 却 費	586,600	そ の 他 医 業 収 益	84,372
資 産 減 耗 費	10,439	医 業 外 収 益	970,753
研 究 研 修 費	33,648	受 取 利 息 配 当 金	554
医 業 外 費 用	232,084	他 会 計 負 担 金	642,591
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	119,443	他 会 計 補 助 金	209,000
院 内 保 育 所 運 営 費	57,463	国 庫 補 助 金	30,109
雑 支 出	677	府 補 助 金	24,705
消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	10,289	そ の 他 医 業 外 収 益	63,794
雑 損 失	44,212	特 別 利 益	76,000
当 期 純 利 益	1,048,608	他 会 計 補 助 金	76,000
合 計	7,811,759	合 計	7,811,759

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 年間の損益計算書

平成21年度中の損益計算書は、次のとおりです。

(平成21年4月1日から平成22年3月31日)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
医 業 費 用	11,924,058	医 業 収 益	11,617,926
給 与 費	6,876,019	入 院 収 益	7,383,271
材 料 費	2,630,323	外 来 収 益	2,765,120
経 費	1,777,179	他 会 計 負 担 金	1,321,665
減 価 償 却 費	586,600	そ の 他 医 業 収 益	147,870
資 産 減 耗 費	10,439	医 業 外 収 益	1,076,449
研 究 研 修 費	43,498	受 取 利 息 配 当 金	1,562
医 業 外 費 用	668,325	他 会 計 負 担 金	642,591
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	240,479	他 会 計 補 助 金	209,000
院 内 保 育 所 運 営 費	103,430	国 庫 補 助 金	30,109
雑 支 出	2,401	府 補 助 金	24,705
雑 損 失	322,015	そ の 他 医 業 外 収 益	168,482
当 期 純 利 益	177,992	特 別 利 益	76,000
		他 会 計 補 助 金	76,000
合 計	12,770,375	合 計	12,770,375

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

(4) 貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

資産の部	金額	負債及び資本の部	金額
	千円		千円
固定資産	7,854,321	流動負債	1,286,738
有形固定資産	7,446,781	未払金	1,249,802
無形固定資産	540	未払費用	1,993
投資	407,000	前受金	2,275
流動資産	4,885,233	預り金	1,168
現金預金	850,803	預り有価証券	31,500
未収金	3,844,757	資本金	10,606,710
貯蔵品	157,874	自己資本金	3,894,282
前払費用	299	借入資本金	6,712,428
保管有価証券	31,500	剰余金	846,106
		資本剰余金	798,302
		剰余金	47,804
合計	12,739,554	合計	12,739,554

備考1 有形固定資産の減価償却累計額は、5億8,660万円です。

2 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

3 その他財政状況を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
千円	千円	千円	千円
6,721,918	3,204,000	3,213,490	6,712,428

平成21年度後期京都市病院事業業務状況（京北病院）

1 事業の概況

当期の病院事業（京北病院）においては、病院と4つの診療所、訪問看護ステーションが一体となって、高齢者を中心とする地域住民が必要とする保健・医療・福祉サービスの提供に努めてきました。しかしながら、整形外科の常勤医師が確保できないなど、厳しい状況が続いています。

診療関係では、入院患者の一般病床では延べ4,660人、療養病床では延べ3,778人で、全体で延べ8,438人となり、前年度同期に比べ延べ196人（2.3パーセント）の減少、また、1日平均では1人減少し、46人となりました。

一方、病院の外来患者数は延べ16,531人、診療所の外来患者数は述べ1,241人、更に訪問看護患者数の延べ1,973人を合わせた全体で延べ19,745人となり、前年度同期に比べ延べ516人（2.5パーセント）の減少、1日平均では6人減少し、166人となりました。

診療収入は、入院収益が1億7,144万円、診療所収益及び居宅サービス事業収益を含めた外来収益が1億912万円となり、前年度同期に比べ、入院収益で388万円の減収、外来収益で390万円の増収となり、診療収入全体では2万円（0.0パーセント）の増収となりました。

当期における京北病院事業の患者数及び収入額は、次のとおりです。

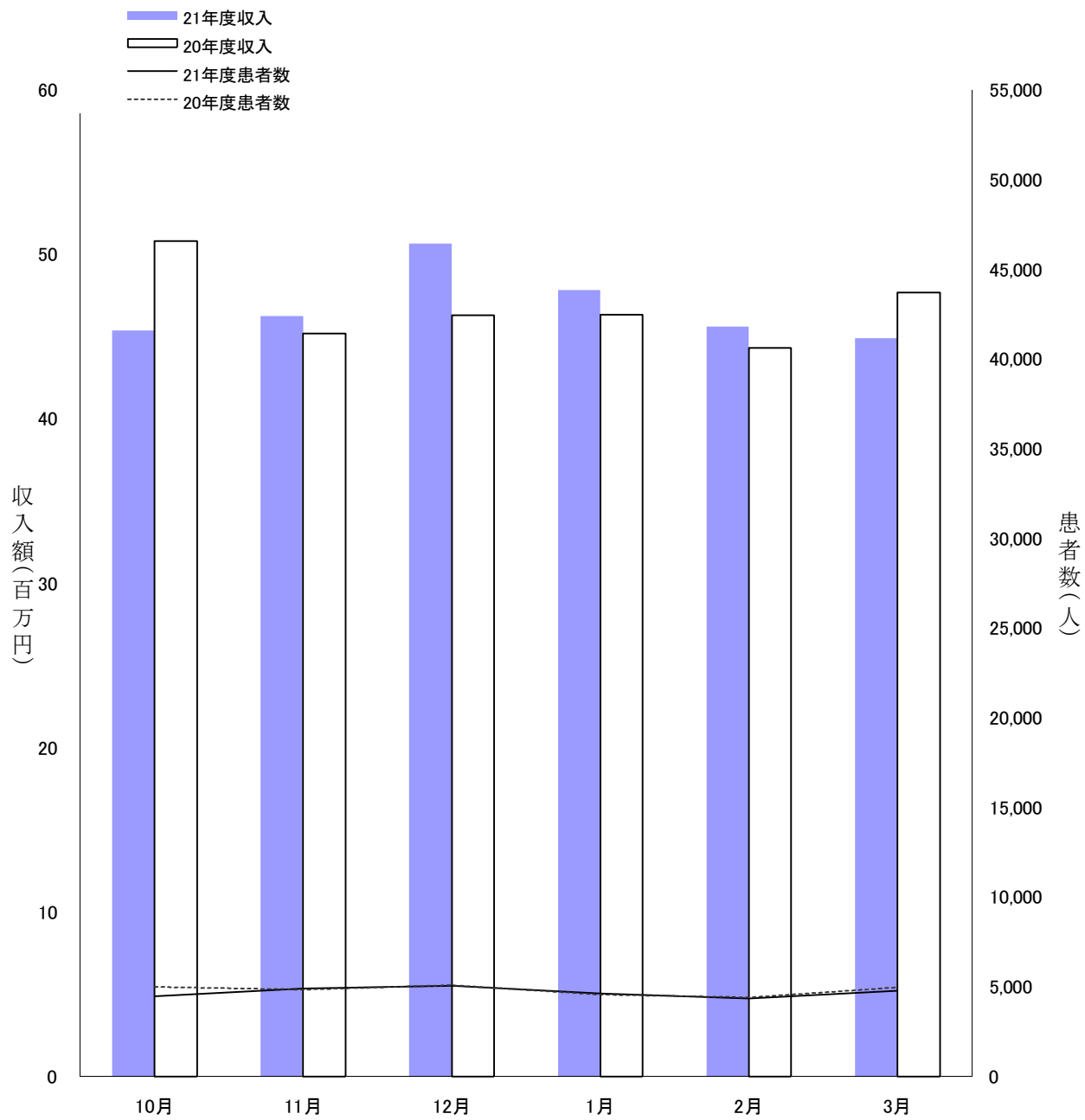
患者数及び収入額

月 別	入 院		外 来		収入額合計
	患 者 数	収 入 額	患 者 数	収 入 額	
平成21年	人	千円	人	千円	千円
10月	1,244	26,613	3,217	18,756	45,369
11月	1,291	27,862	3,607	18,382	46,244
12月	1,498	31,610	3,570	19,028	50,638
平成22年					
1月	1,557	30,466	3,067	17,361	47,827
2月	1,494	28,933	2,863	16,649	45,582
3月	1,354	25,957	3,421	18,948	44,905
合 計	8,438	171,441	19,745	109,124	280,565
1日平均	46	942	166	917	1,859
前年度同期1日平均	47	963	172	892	1,855

- 備考 1 営業日数は、入院 182 日、外来 119 日です。
- 2 入院の患者数及び収入額は、一般診療と療養診療の合計です。
- 3 外来の患者数及び収入額は、病院、診療所及び居宅サービス(訪問看護)の合計です。
- 4 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(参考) 入院・外来の詳細

区分	患者数	収入額
入 院	人	千円
	8,438	171,441
一 般	4,660	115,924
療 養	3,778	55,517
外 来	19,745	109,124
病 院	16,531	84,392
黒田診療所	261	1,399
山国診療所	595	3,173
細野診療所	99	620
宇津診療所	286	1,542
居宅サービス	1,973	17,998



なお、平成21年度の実績を前年度と比較すると、次のとおりです。

区 分		平成20年度	平成21年度	増 △ 減	
入 院	一 般 診 療	診 療 日 数	365 日	365 日	0 日
		稼働病床数	41 床	41 床	0 床
		稼働病床利用率	66.9 %	63.6 %	△ 3.3 <small>ポイント</small>
		延べ患者数	10,216 人	9,520 人	△ 696 人
		1日平均患者数	28 人	26 人	△ 2 人
		平均在院日数	18.9 日	20.5 日	1.6 日
	療 養 診 療	診 療 日 数	365 日	365 日	0 日
		稼働病床数	26 床	26 床	0 床
		稼働病床利用率	78.6 %	81.0 %	2.4 <small>ポイント</small>
		延べ患者数	7,217 人	7,683 人	466 人
		1日平均患者数	20 人	21 人	1 人
		延べ患者数合計	17,433 人	17,203 人	△ 230 人
	1日平均患者数合計		48 人	47 人	△ 1 人
	外 来	診 療 日 数	243 日	242 日	△ 1 日
延べ患者数		34,455 人	32,523 人	△ 1,932 人	
1日平均患者数		142 人	134 人	△ 8 人	
診 療 所	延べ患者数	3,138 人	2,614 人	△ 524 人	
	1日平均患者数	13 人	11 人	△ 2 人	
居宅 サー ビス 事業	延べ患者数	3,450 人	3,870 人	420 人	

(注) 平成20年5月までは、一般診療稼働病床数46床、療養診療稼働病床数21床

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成21年10月1日から平成22年3月31日)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
医 業 費 用	474,293	医 業 収 益	294,000
給 与 費	278,887	入 院 収 益	171,441
材 料 費	35,193	外 来 収 益	84,392
経 費	91,804	診 療 所 収 益	6,734
減 価 償 却 費	67,177	居 宅 サ ー ビ ス 事 業 収 益	17,998
資 産 減 耗 費	718	他 会 計 負 担 金	768
研 究 研 修 費	514	そ の 他 医 業 収 益	12,667
医 業 外 費 用	9,442	医 業 外 収 益	62,823
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	7,913	受 取 利 息 配 当 金	0
雑 支 出	0	他 会 計 負 担 金	10232
消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	736	他 会 計 補 助 金	0
雑 損 失	793	国 庫 補 助 金	2,750
		府 補 助 金	4,685
		そ の 他 医 業 外 収 益	45,156
		当 期 純 損 失	126,912
合 計	483,735	合 計	483,735

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 年間の損益計算書

平成21年度中の損益計算書は、次のとおりです。

(平成21年4月1日から平成22年3月31日)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
医 業 費 用	906,300	医 業 収 益	677,307
給 与 費	578,157	入 院 収 益	340,059
材 料 費	61,860	外 来 収 益	171,958
経 費	197,325	診 療 所 収 益	13,076
減 価 償 却 費	67,177	居 宅 サービス 事 業 収 益	36,827
資 産 減 耗 費	718	他 会 計 負 担 金	100,768
研 究 研 修 費	1,063	そ の 他 医 業 収 益	14,619
医 業 外 費 用	27,671	医 業 外 収 益	81,962
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	16,083	受 取 利 息 配 当 金	0
雑 支 出	21	他 会 計 負 担 金	40,232
消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	736	他 会 計 補 助 金	25,000
雑 損 失	10,831	国 庫 補 助 金	2,750
		府 補 助 金	4,685
		そ の 他 医 業 外 収 益	9,295
		当 期 純 損 失	174,702
合 計	933,971	合 計	933,971

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

(4) 貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	1,057,126	固 定 負 債	407,000
有 形 固 定 資 産	1,057,126	長 期 借 入 金	407,000
無 形 固 定 資 産	0	流 動 負 債	53,737
流 動 資 産	191,669	未 払 金	53,737
現 金 預 金	28,405	預 り 金	0
未 収 金	154,622	預 り 有 価 証 券	0
貯 蔵 品	8,140	資 本 金	1,185,615
前 払 費 用	502	自 己 資 本 金	740,614
保 管 有 価 証 券	0	借 入 資 本 金	445,001
		剰 余 金	△ 397,557
		資 本 剰 余 金	301,851
		欠 損 金	699,408
合 計	1,248,795	合 計	1,248,795

備考1 有形固定資産の減価償却累計額は、10億9,517万円です。

2 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

3 その他財政状況を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
千円	千円	千円	千円
467,235	0	22,234	445,001

平成21年度後期京都市自動車運送事業業務状況

1 事業概況

自動車運送事業（市バス）は、きめ細やかに張り巡らせた路線のネットワークにより、市民生活に欠くことのできない身近な公共交通機関として、また、観光客の便利で手ごろな交通手段として、多様な都市活動を支えています。さらに、高齢者や障害のある方への対応、低炭素化社会の実現に向けた自家用車から公共交通への利用転換など、人や環境にやさしい交通機関としてもその重要性を増しています。

しかしながら、交通手段の多様化や景気低迷によるお客様の減少でバス事業を取り巻く経営環境は全国的に厳しく、人口減少社会の到来などにより、今後も厳しい状況が続くと予想されます。

このような中、人件費などのコスト削減や利便性向上に取り組み、その結果、平成15年度以降は経常損益で黒字を計上しているものの、過去の赤字による多額の累積欠損金や累積資金不足を抱えており、こうした中、平成21年度後期は黒字基調の堅持と一般会計からの補助金の削減という経営目標に沿って、一層の経営健全化に取り組みました。

(1) 経営健全化の取組

「京都市自動車運送事業経営健全化計画案（骨子）」に基づき、人件費・経費の抑制やバス車両の耐用年数見直しなど、徹底したコスト削減に努めました。

一方、平成20年度決算において、本市自動車運送事業の資金不足比率が「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」（以下「財政健全化法」という。）による経営健全化の基準となる20パーセントを上回ったことから、本市自動車運送事業は、同法に基づく経営健全化団体となりました。

このため、財政健全化法に基づく新たな経営健全化計画として、「京都市自動車運送事業経営健全化計画」を平成22年3月に市会の議決を得て策定しました。

(2) お客様サービスの向上と増収・増客の取組

観光シーズンを中心とした臨時バスの運行に加え、平成22年3月にダイヤ改正を行い、利用者の多い河原町通（京都駅～河原町今出川間）を運行する各系統において、平日昼間時間帯のダイヤ調整・増便により3～4分間隔の等間隔運行を実施するなど利便性の向上に努めました。

また、施設等整備については、バス待ち環境の向上策として民間活力を導入した広告パネル付きのバス停留所を設置しました。また、市バスの接近情報を表示するバスロケーションシステムを8基増設しました。

(3) 運輸成績

(平成21年10月1日から
平成22年3月31日まで)

区 分		当期	前年同期	増減	増減比率
営業日数 (日)		182	182	-	-
営業キロ数 (km)		455.03	434.90	20.13	4.6%
在籍車両数 (両)		765	765	-	-
使用車両数 (両)	一般路線	120,970 (665)	119,690 (658)	1,280 (7)	1.1% (1.1%)
	定期観光	380 (2)	402 (2)	△ 22 -	△ 5.5% -
	合計	121,350 (667)	120,092 (660)	1,258 (7)	1.0% (1.1%)
走行キロ数 (km)	一般路線	14,581,407 (80,118)	14,579,220 (80,106)	2,187 (12)	0.0% (0.0%)
	定期観光	22,123 (121)	24,339 (134)	△ 2,216 (△ 13)	△ 9.1% (△ 9.7%)
	合計	14,603,530 (80,239)	14,603,559 (80,240)	△ 29 (△ 1)	△ 0.0% (△ 0.0%)
旅客数 (人)	一般路線	56,585,087 (310,907)	56,904,567 (312,662)	△ 319,480 (△ 1,755)	△ 0.6% (△ 0.6%)
	定期観光	12,918 (71)	14,257 (78)	△ 1,339 (△ 7)	△ 9.4% (△ 9.0%)
	合計	56,598,005 (310,978)	56,918,824 (312,740)	△ 320,819 (△ 1,762)	△ 0.6% (△ 0.6%)
旅客収入 (千円)	一般路線	9,073,733 (49,856)	9,161,703 (50,339)	△ 87,970 (△ 483)	△ 1.0% (△ 1.0%)
	定期観光	46,438 (255)	54,042 (297)	△ 7,604 (△ 42)	△ 14.1% (△ 14.1%)
	合計	9,120,171 (50,111)	9,215,745 (50,636)	△ 95,574 (△ 525)	△ 1.0% (△ 1.0%)

注1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものである。

2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の()内は、1日平均の数値である。

3 旅客収入は、消費税及び地方消費税を含む。

(4) 建設改良工事の概況

建設改良工事の主なものは、次のとおりです。

工 事 名	数量	金 額	着 工 年 月 日	しゅん工 年 月 日
車 両 整 備 統 計 シ ス テ ム	1 式	5,135,130	21.5.2	21.8.31
運 賃 箱 等 車 載 器 更 新	1 式	607,161,032	21.6.11	22.3.26
バス停留所上屋新設・改築工事	5 箇所	4,655,171	21.9.18	21.12.15
バスロケーションシステム拡充	8 基	14,893,725	21.10.9	22.2.17
乗合自動車新造 ハイブリッドノンステップバス2両	2 両	63,653,559	21.10.21	22.3.30

2 経理状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

平成 21 年 10 月 1 日から
(平成 22 年 3 月 31 日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
自動車運送事業費用	11,443,806	自動車運送事業収益	12,111,959
営業費用	10,773,403	営業収益	9,480,890
保 存 費	824,671	運 送 収 益	9,168,273
運 転 費	5,143,747	そ の 他	312,617
管 理 費	3,772,016	営 業 外 収 益	1,337,511
減 価 償 却 費	1,032,969	他 会 計 補 助 金	1,330,319
営業外費用	455,639	国 庫 補 助 金	1,161
支 払 利 息	79,531	そ の 他	6,031
消 費 税	363,877	特 別 利 益	1,293,558
そ の 他	12,231	固 定 資 産 売 却 益	1,293,558
特別損失	214,764		
その他特別損失	214,764		
当期純利益	668,153		
合 計	12,111,959	合 計	12,111,959

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(平成22年 3月31日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	27,804,104	固 定 負 債	800,000
有形固定資産	27,781,872	他会計借入金	800,000
無形固定資産	11,232	流 動 負 債	11,166,475
建設仮勘定	0	一時借入金	7,000,000
投 資	11,000	未 払 金	3,714,582
流 動 資 産	2,581,147	預 り 金	190,178
現金預金	339,645	前 受 金	261,715
未 収 金	1,954,484	資 本 金	16,301,246
貯 蔵 品	61,495	自 己 資 本 金	6,755,288
前 払 金	224,748	借 入 資 本 金	9,545,958
前 払 費 用	775	剰余金(欠損金)	2,117,530
		資 本 剰 余 金	10,869,680
		欠 損 金	△ 8,752,150
合 計	30,385,251	合 計	30,385,251

備考1 有形固定資産の減価償却累計額は、205億1,990万円です。

2 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	11,149,783	715,000	2,318,825	9,545,958
合 計	11,149,783	715,000	2,318,825	9,545,958

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、70億円です。

平成21年度後期京都市高速鉄道事業業務状況

1 事業概況

高速鉄道事業（地下鉄）は、烏丸線と東西線の2路線で市域を東西南北に貫き、他の鉄道路線との接続による広域的な交通ネットワークを形成するとともに、市内に網の目のように張り巡らせた市バス路線と合わせ、市民や観光客の大切な足として多様な都市活動を支え、本市交通の基幹となる役割を果たしています。

高速鉄道事業は、一般的に建設費用が巨額であるため、収支の採算を確保するには極めて長期間を必要とする事業ですが、本市高速鉄道事業の場合、東西線の建設が建設費高騰のバブル期と重なったことや、お客様の数が伸び悩んでいることから、全国一厳しい財政状況となっています。

このような中、将来にわたり市民の足を確保するという公営交通の使命を果たすため、平成21年度後期は、当面の目標とした現金収支の黒字化に向け、一層の経営健全化に取り組みました。

(1) 経営健全化の取組

「京都市高速鉄道事業経営健全化計画案（骨子）」に基づき、高金利建設企業債の借換による利息負担の軽減や、地下鉄設備の更新期間の延長、人件費の抑制など徹底したコスト削減に努めました。

一方、平成20年度決算において、本市高速鉄道事業の資金不足比率が「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」（以下「財政健全化法」という。）による経営健全化の基準となる20パーセントを上回ったことから、本市高速鉄道事業は、同法に基づく経営健全化団体となりました。

このため、財政健全化法に基づく新たな経営健全化計画として、「京都市高速鉄道事業経営健全化計画」を平成22年3月に市会の議決を得て策定しました。

(2) お客様サービスの向上と増収・増客の取組

平成22年3月に10年ぶりとなるダイヤ改正を行い、夜間時間帯の増便・等間隔運行、烏丸御池駅での最終列車の全方向乗り継ぎ「シンデレラクロス」を実施し、利便性の向上を図りました。

増収に向けた取組については、駅構内の有効スペースを活用した「駅ナカビジネス」を引き続き推進しました。「駅ナカビジネス」では、簡易型店舗の実施駅の拡大や地下鉄駅のみで購入できるオリジナルスイーツを発売するなど、多様な展開を図りました。また、都心部に位置し、乗降客の多い四条駅について、より利便性の高い、賑わいのある駅を目指し、駅ナカビジネスに活用できる空間を創出するため、同駅のリニューアルを実施することとし、併せて出店事業者の募集を行いました。

(3) 運輸成績

(平成21年10月1日から)
(平成22年3月31日まで)

区 分	当期	前年同期	増減	増減比率
営業日数 (日)	182	182	-	-
営業キロ数 (km)	31.2	31.2	-	-
在籍車両数 (両)	222	222	-	-
使用車両数 (両)	44,576 (245)	44,478 (244)	98 (1)	0.2% (0.4%)
走行キロ数 (km)	10,198,801 (56,037)	10,175,874 (55,911)	22,927 (126)	0.2% (0.2%)
旅客数 (人)	58,503,124 (321,446)	58,608,238 (322,023)	△ 105,114 (△ 577)	△ 0.2% (△ 0.2%)
旅客収入 (千円)	11,200,310 (61,540)	11,264,432 (61,892)	△ 64,122 (△ 352)	△ 0.6% (△ 0.6%)

注1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものである。

2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の()内は、1日平均の数値である。

3 旅客収入は、消費税及び地方消費税を含む。

(4) 建設改良工事の概況

建設改良工事の主なものは、次のとおりです。

工 事 名	数量	金 額	着 工 日 年 月 日	しゅん工 年 月 日	備 考
今出川駅他防火戸等設置工事 (建築)	一式	128,199,750	21.9.9	22.3.30	
今出川駅他防火戸等設置工事 (防災監視設備)	一式	14,700,000	22.2.5	22.3.30	
烏丸線駅舎照明設備更新工事 (京都駅)	一式	89,082,000	21.2.11	21.10.26	
烏丸線駅舎照明設備更新工事 (五条駅)	一式	80,262,000	21.2.11	21.10.26	
案内表示器更新工事その4	一式	24,999,555	21.12.17	22.3.25	
放送設備更新工事	一式	154,875,000	22.3.9	継続中	
烏丸線今出川駅冷凍機更新工 事	一式	38,619,000	21.11.3	22.3.29	
京都市営地下鉄四条駅リ ニューアル事業デザイン及び 設計業務委託費用	一式	34,650,000	21.10.2	22.3.15	
高速鉄道烏丸線信号用電源装 置改良工事(姉工事指令所)	一式	62,475,000	21.10.10	22.3.10	
高速鉄道烏丸線連動装置更新 工事(烏丸御池駅)	一式	104,790,000	21.2.13	22.2.3	
高速鉄道烏丸線ATC装置更 新工事(京都駅)	一式	327,600,000	21.2.13	22.3.29	
高速鉄道烏丸線連動装置更新 工事(北大路駅)	一式	122,640,000	22.3.3	継続中	
高速鉄道烏丸線CPU-I/F装置 改良工事	一式	45,990,000	21.9.9	22.3.29	
国際会館駅信号保安設備改良 工事	一式	24,150,000	21.7.29	22.3.29	
高速鉄道東西線信号保安設備 改良工事その2	一式	51,450,000	21.8.25	22.3.29	

工 事 名	数量	金 額	着 工 年 月 日	しゅん工 年 月 日	備 考
高速鉄道烏丸線電力管理用光ケーブル敷設工事	一式	39,952,500	22.3.5	継続中	
10系車両用車輪（第10編成）	一式	18,654,720	21.10.20	継続中	
10系車両用車輪（第11編成）	一式	18,654,720	21.12.25	継続中	
10系車両ユニットクーラー	一式	30,996,000	21.7.31	22.3.18	
10系車両台車空気ばねゴム部品交換業務	一式	13,431,600	20.11.12	21.7.13	
10系車両蓄電池	一式	14,175,000	21.8.22	22.3.30	
10系車両ATS送受信器	一式	18,060,000	21.7.1	22.3.24	
10系車両ATS送受信器	一式	97,020,000	21.12.22	継続中	
10系車両ATS送受信器	一式	23,625,000	21.7.3	22.3.30	
10系車両車体及びぎ装ATS装置更新改修業務	一式	71,925,000	22.1.22	継続中	
10系車両ATS論理装置	一式	127,050,000	22.1.29	継続中	
50系車両用車輪（第12編成）	一式	24,780,000	20.6.17	21.7.29	
50系車両用車輪（第13編成）	一式	26,236,350	20.12.9	21.9.29	
50系車両用車輪（第14編成）	一式	26,337,150	21.2.14	21.11.24	
50系車両用車輪（第01編成）	一式	25,092,480	21.3.26	22.3.23	
50系車両用車輪（第02編成）	一式	21,147,000	21.12.25	継続中	
50系車両蓄電池	一式	27,720,000	21.5.28	21.11.27	

工 事 名	数量	金 額	着 工 年 月 日	しゅん工 年 月 日	備 考
50系車両蓄電池	一式	18,480,000	21.12.2	継続中	
無人改札ゲート更新工事その3	一式	17,850,000	22.2.5	22.3.30	
定期券発行機更新工事その4	一式	68,250,000	22.1.22	22.3.30	
自動券売機機能改修工事	一式	26,250,000	21.7.29	21.9.30	
I T V設備更新工事その14	一式	17,157,000	22.1.26	22.3.25	
I T V設備記録監視装置更新工事	一式	27,615,000	21.9.4	21.12.21	
防火シャッター設置工事 (ITV設備新設工事)	一式	15,330,000	21.12.23	22.3.30	
ATS論理装置用試験器	一式	39,165,000	21.12.2	継続中	
ATS送受信器用試験器	一式	34,650,000	21.12.22	継続中	
鉄道施設の譲渡に対する対価等の支出	一式	4,861,741,726	22.3.31	22.3.31	

2 経理状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成 21 年 10 月 1 日から
平成 22 年 3 月 31 日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
高速鉄道事業費用	20,588,461	高速鉄道事業収益	13,497,190
営業費用	14,597,242	営業収益	11,878,106
保存費	3,086,638	運輸収益	11,239,687
運転費	1,353,766	その他	638,419
運輸費	2,467,355	営業外収益	1,577,561
管理費	1,213,636	受取利息及び配当金	53
減価償却費	6,475,847	他会計補助金	1,549,554
営業外費用	5,945,143	その他	27,954
支払利息	5,913,305	特別利益	41,523
その他	31,838	土地売却益	41,523
特別損失	46,076		
その他特別損失	46,076		
		当期純損失	7,091,271
合 計	20,588,461	合 計	20,588,461

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

資産の部	金額	負債及び資本の部	金額
	千円		千円
固定資産	586,589,665	固定負債	185,389,442
有形固定資産	575,536,851	企業債	133,033,152
無形固定資産	10,864,328	その他固定負債	52,356,290
建設仮勘定	108,886	流動負債	33,027,333
投資	79,600	一時借入金	26,200,000
流動資産	2,044,212	未払金	4,809,368
現金預金	566,103	預り金	206,708
未収金	1,457,218	前受金	540,998
貯蔵品	18,803	仮受金	1,270,259
前払費用	2,088	資本金	464,309,827
繰延勘定	231,226	自己資本金	166,920,348
企業債発行差金	231,226	借入資本金	297,389,479
		剰余金(欠損金)	△ 93,861,499
		資本剰余金	225,457,549
		欠損金	△ 319,319,048
合計	588,865,103	合計	588,865,103

備考1 有形固定資産の減価償却累計額は、1,952億6261万2千円です。

2 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
高速鉄道事業債	269,109,230	22,531,000	38,967,991	252,672,239
出 資 債	32,000	0	0	32,000
特 例 債	15,614,643	1,390,000	1,865,976	15,138,667
資本費負担緩和 分 企 業 債	83,066,391	6,159,000	1,642,906	87,582,485
資本費平準化債	21,818,000	8,494,000	0	30,312,000
鉄道 ・ 運輸 機 構 借 入 金	57,218,032	0	4,861,742	52,356,290
長 期 借 入 金	45,308,600	0	623,360	44,685,240
合 計	492,166,896	38,574,000	47,961,975	482,778,921

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は262億円です。

平成21年度後期京都市水道事業業務状況

1 事業の概況

(1) 概況

当期有収水量は、前年度同期に比べ102万立方メートル（1.2パーセント）減少し、8,683万立方メートルとなり、1日最大給水量は、前年度に比べ1万300立方メートル（1.65パーセント）減少の61万4,980立方メートルとなりました。

給水収益は、前年度同期に比べ3億5,701万円（2.5パーセント）減少となり、140億1,928万円となりました。また、当期総収益は、151億2,407万円となり、一方、当期総費用は、220億6,902万円となりました。

建設改良事業は、上水道施設整備事業として、蹴上浄水場1・2号ちんでん池築造（準備）工事、松ヶ崎浄水場送水ポンプ設備取替工事及び新山科浄水場太陽光発電設備設置工事等を施工し、幹線配水管敷設替え及び相互連絡管布設（延長3.5キロメートル）、支線配水管布設及び布設替え（延長14.0キロメートル）等を施工しました。

(2) 前年度実績との比較

平成21年度の実績を前年度と比べると、次のとおりです。

項目	単位	平成21年度	平成20年度	増減比率(%)
使用者数	件	738,654	736,227	0.33
年間給水量	m ³	203,680,590	205,442,830	△ 0.86
年間有収水量	m ³	175,892,075	177,954,274	△ 1.16
有収率	%	86.4	86.6	△ 0.2
1日平均給水量	m ³	558,029	562,857	△ 0.86
1日最大給水量	m ³	614,980	625,280	△ 1.65
1日平均有収水量	m ³	481,896	487,546	△ 1.16
使用電力量	kwh	43,063,490	43,557,861	△ 1.13
次亜塩素酸注入量	m ³	2,076	2,242	△ 7.40
水道料金	千円	27,131,721	27,639,629	△ 1.84
総収益	千円	29,343,267	30,066,998	△ 2.41
総費用	千円	28,261,396	29,805,319	△ 5.18

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成21年10月1日から平成22年3月31日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
水道事業費用	22,069,015	水道事業収益	15,124,071
営業費用	18,897,150	営業収益	15,049,779
原水費	568,373	給水収益	14,019,279
浄水費	1,889,067	他会計負担金	40,280
配水及び給水費	2,892,101	その他営業収益	990,220
業務費	1,488,567	営業外収益	74,292
総係費	1,592,965	受取利息	11,110
減価償却費	9,972,600	雑収益	63,182
資産減耗費	493,476		
その他営業費用	1		
営業外費用	3,171,865		
支払利息及び 企業債取扱諸費	1,994,695		
繰延勘定償却	10,821		
雑支出	16,414		
消費税及び 地方消費税	721,809	当期純損失	6,944,944
消費税及び地方 消費税調整額	428,126		
合 計	22,069,015	合 計	22,069,015

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	278,515,288	固 定 負 債	2,520,549
有形固定資産	274,208,200	引 当 金	1,061,199
無形固定資産	2,399,562	企業債償還積立金	1,459,350
投 資	1,907,526	流 動 負 債	5,082,107
		一 時 借 入 金	0
流 動 資 産	13,517,669	未 払 金	4,120,336
現 金 預 金	2,042,104	前 受 金	430,301
未 収 金	3,059,245	預 り 金	331,470
貯 蔵 品	332,230	預 り 有 価 証 券	200,000
保管有価証券	200,000		
仮 払 金	0	資 本 金	186,723,430
短期貸付金	7,200,000	自 己 資 本 金	26,453,593
前 払 金	684,090	借 入 資 本 金	160,269,837
その他流動資産	0		
		剰 余 金	97,723,458
繰 延 勘 定	16,587	資 本 剰 余 金	91,634,849
企業債発行差金	16,587	利 益 剰 余 金	6,088,609
合 計	292,049,544	合 計	292,049,544

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、1,813億6,877万円です。

備考 2 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(平成22年3月31日現在)

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
企 業 債	163,785,087	9,922,740	11,978,640	161,729,187
合 計	163,785,087	9,922,740	11,978,640	161,729,187

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

平成21年度後期京都市公共下水道事業業務状況

1 事業の概況

(1) 概況

当期有収汚水量は、前年度同期に比べ118万立方メートル（1.2パーセント）減少し、9,467万立方メートルとなり、1日最大流入下水量は、前年度に比べ4万2,930立方メートル（1.71パーセント）増加の254万9,210立方メートルとなりました。

下水道使用料は、前年度同期に比べ3億8,298万円（2.9パーセント）減少となり、126億7,402万円となりました。また、当期総収益は、230億3,548万円となり、一方、当期総費用は、350億4872万円となりました。

建設改良事業について、管渠^{きよ}では、前年度に引き続き大手筋幹線、七条西幹線等の各幹線工事を施工しました。

ポンプ場では、前年度に引き続き羽束師ポンプ場で沈砂池設備の工事を施工しました。

終末処理場では、鳥羽水環境保全センターで前年度に引き続き流動炉焼却機械設備の工事を施工しました。また、伏見水環境保全センターで特高受電設備の工事を、石田水環境保全センターでCD系監視制御設備の工事を前年度に引き続き施工しました。

(2) 前年度実績との比較

なお、平成20年度の実績を前年度と比べると、次のとおりです。

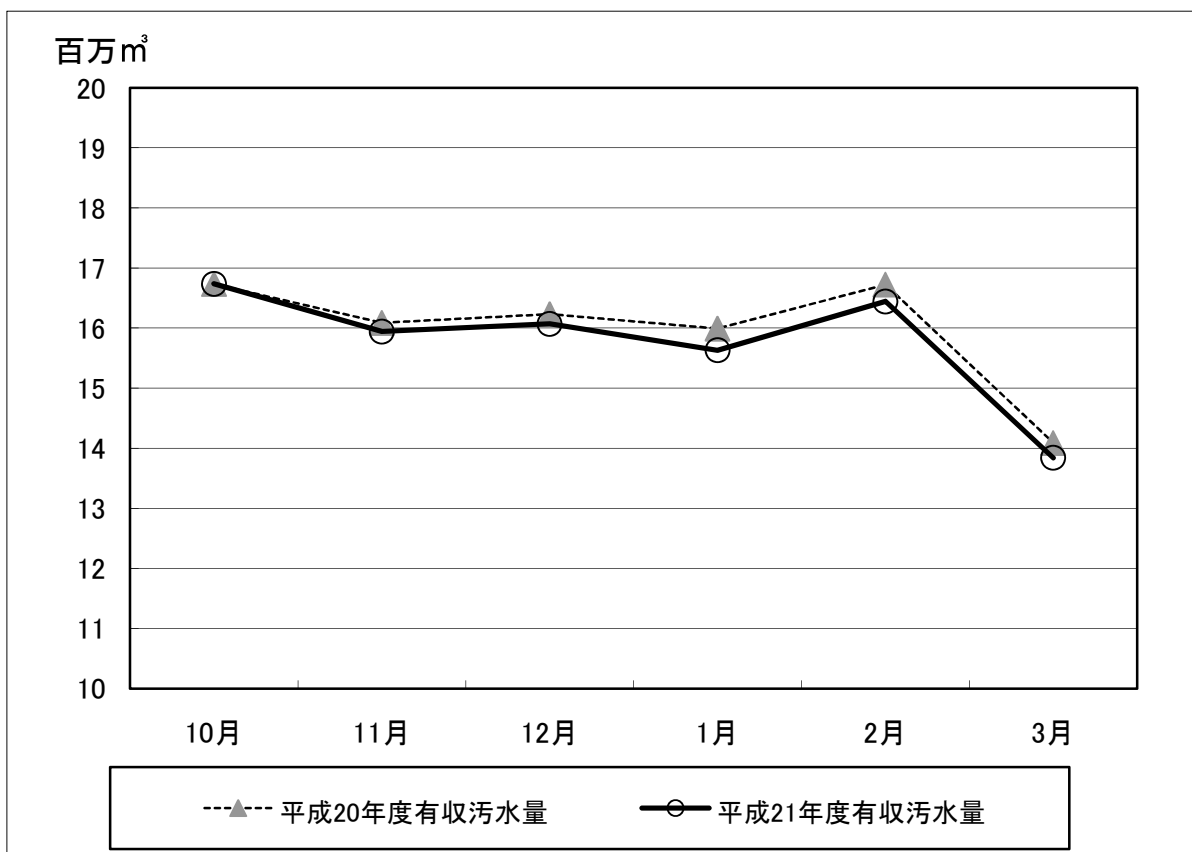
項目	単位	平成21年度	平成20年度	増減比率(%)
整備区域	ha	15,234	15,226	0.05
年間流入下水道量	m ³	314,310,760	323,637,840	△ 2.88
年間有収汚水量	m ³	191,264,418	194,226,954	△ 1.53
1日平均流入下水道量	m ³	861,130	886,680	△ 2.88
1日最大流入下水道量	m ³	2,549,210	2,506,280	1.71
年間平均有収汚水量	m ³	524,012	532,129	△ 1.53
年間下水道処理量	m ³	313,531,710	323,265,510	△ 3.01
使用電力量	kwh	102,001,420	105,652,296	△ 3.46
整備管渠延長	m	5,399,689	5,390,511	0.17
下水道使用給水装置数	件	536,299	534,637	0.31
下水道使用料	千円	24,381,193	24,972,441	△ 2.37
総収益	千円	42,859,107	46,346,322	△ 7.52
総費用	千円	44,168,568	46,317,979	△ 4.64

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

- (3) 有収汚水量
 当期における有収汚水量は、次のとおりです。

有収汚水量

月別 / 項目	有収汚水量
平成	m ³
21年 10月	16,736,523
〃 11月	15,942,949
〃 12月	16,070,543
22年 1月	15,631,306
〃 2月	16,443,915
〃 3月	13,841,830
合計	94,667,066
1日平均	520,149
前年同期1日平均	526,666



2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成21年10月1日から22年3月31日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
公共下水道事業用	35,048,718	公共下水道事業収益	23,035,484
事業費用	28,701,319	事業収益	21,916,639
下水道維持費	1,547,264	下水道使用料	12,674,021
下水処理費	5,468,287	他会計負担金	9,016,855
業務費	722,165	その他事業収益	225,763
水洗便所普及 対策費	77,310		
総係費	1,145,342	事業外収益	1,118,845
減価償却費	19,190,287	受取利息	10,267
資産減耗費	550,664	他会計負担金	1,077,389
事業外費用	6,347,399	国庫補助金	1,286
支払利息及び 企業債取扱諸費	5,267,102	雑収益	29,903
繰延勘定償却	38,535		
雑支出	28,412		
消費税及び地方 消費税調整費	409,021		
消費税及び地方 消費税納税額	604,329	当期純損失	12,013,234
合 計	35,048,718	合 計	35,048,718

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	881,826,085	固 定 負 債	28,968,782
有形固定資産	878,547,418	企業債償還金	20,606,865
無形固定資産	3,238,247	企業債	7,731,000
投 資	40,420	引 当 金	630,917
流 動 資 産	17,910,622	流 動 負 債	7,560,791
現 金 預 金	7,718,073	未 払 金	6,876,379
未 収 金	4,877,349	前 受 金	325,983
保管有価証券	202,000	預 り 金	156,429
短期貸付金	3,500,000	預り有価証券	202,000
前 払 金	1,613,200		
繰 延 勘 定	47,382	資 本 金	530,974,456
企業債発行差金	47,382	自己資本金	162,889,377
		借入資本金	368,085,079
		剰 余 金	332,280,060
		資本剰余金	335,683,156
		利益剰余金	△ 3,403,096
合 計	899,784,089	合 計	899,784,089

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(平成22年3月31日現在)

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
公共下水道 建設事業費公債	399,627,720	17,123,000	28,058,776	388,691,944
資本費平準化債	0	7,731,000	0	7,731,000
合 計	399,627,720	24,854,000	28,058,776	396,422,944

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(行財政局総務部総務課)